

社協だより



オープニングを飾った七頭舞



多くの来場者で賑わった

3年ぶりに開催



運試しのお楽しみ抽選会



頼もしい学生ボランティアの皆さん



主な内容

- 令和3年度事業報告・決算…………… 2～5
- 赤い羽根共同募金運動について…………… 6
- お知らせ…………… 7～8

7月9日（土）、第2回町民福祉まつりをうれいら通り商店街で開催しました。当日は小雨が降る中、出演団体や出店団体、商店街がひとつとなって来場者を迎え、まつりを盛り上げました。

コロナ感染症の影響を受け3年ぶりの開催でしたが、多くの皆さんに協力をいただき大成功。ありがとうございました。

令和3年度岩泉町社会福祉協議会事業報告

基本理念「お互いに支え合うやさしいまちづくりの実現に向けて」

事業総括【抜粋】

令和3年度の事業計画は、新型コロナウイルス感染症対策を講じたものを立案しましたが、各種事業やイベントなどの地域福祉事業をはじめ、介護保険事業及び障害者総合支援事業についても、この感染症の影響を大きく受け、事業活動を展開するうえでの課題もありました。

このような1年ではありましたが、基本理念を大切に、多くの方々に支えられながら、重点施策を中心とした地域福祉の推進に取り組みました。

【重点施策】

1 一人暮らし高齢者等見守り事業

東日本大震災と台風10号豪雨災害の被災者支援事業が当町では令和2年度を以って収束したことから、本会の通常事業に移行するため、県社会福祉協議会の助成事業を2年連続で受け、「復興よりそいサロン」事業を実施することができました。

(1) 一人暮らし高齢者等見守り事業の実施

①訪問活動（東日本大震災） 25回

②復興よりそいサロンの運営（県社協受託） 6地区 9回 49名

2 相談事業の充実と住民生活支援事業の実施

町民の日常的な困りごとを早期に解決し安心した生活が送れるよう各種相談窓口を設置し対応しました。また、生活困窮者、高齢者や障がい者等を支援することとを目的に、資金貸付、手続き代行、情報提供等の業務を通じ、福祉サービスの利用援助及び生活支援を促進しました。

(1) 心配ごと相談所の開設 相談件数41件

(2) 総合相談会の開設 2回 相談件数5件

(3) 資金貸付事業の実施

①生活福祉資金貸付事業 新規11件

②たすけあい資金貸付事業 新規1件

(4) 見舞金等給付事業の実施

①火災見舞金 1件（2世帯分）

②歳末義援金の給付（共同募金会配分金）町民の皆さんの善意の募金について、配分会議を開催し、明るいお正月を迎えてもらうため、生活保護世帯に準じた程度の生活困窮世帯であって配分対象となる世帯に対し民生委員・児童委員等の協力を得てお届けできました。また、出生世帯には、本会窓口で「龍ちゃん商品券」をお渡ししました。

在宅者配分 150世帯

出生世帯 38世帯

(5) 日常用具貸出事業

生活における福祉の向上を目的に車いすの貸出しを5件行いました。

(6) 介護者のつどいの開催

龍泉洞温泉ホテル 参加24名

(7) 岩泉町成年後見センターの運営

(8) 日常生活自立支援事業

日常生活において判断が十分にできない方が地域で安心して暮らせるように福祉サービスの利用手続きや金銭管理などを援助しました。利用者数15名

(9) 生活困窮者自立支援事業

宮古圏域くらしサポートセンターへの業務協力を継続しました。

3 福祉啓発活動の充実と社会福祉従事者の育成

(1) 広報・宣伝活動の実施

- ① 広報発行 年4回全戸配付
- ② ホームページによる情報発信

(2) 福祉啓発事業の実施

- ① 第32回岩泉町社会福祉大会
式典を取りやめ、社協各支部の協力を得ながら対象者宅を訪問し、賞状、記念品を贈呈しました。
- 福祉功労者表彰 10名
- 永年勤続功労者表彰 2名
- 90歳の在宅高齢者介護者表彰 10名
- 90歳元気高齢者表彰 81名

② 第19回岩泉町合同金婚式

- 式典・祝賀会を取りやめ対象者宅を訪問し、祝状、記念品を贈呈し祝福しました。
- 対象組 29組

③ 米寿・白寿・101歳以上の高齢者に対する敬老記念品贈呈事業

- 6支部役職員に贈呈を依頼し、皆さんに記念品を贈呈し祝福しました。
- 米寿99名 白寿7名 101歳以上9名

④ キャップハンディスクール

岩泉小学校 4年生28名

⑤ 地域福祉座談会 中止

(3) ボランティアの育成と住民参加の促進

- ① 町民福祉まつり 中止
- ② ボランティアセンターの運営

ボランティア登録 10団体 147名

③ 高齢者福祉ボランティア活動事業補助金(町補助金) 4団体

(4) ふれあい・いきいきサロン事業

誰もが立ち寄れるサロンであり、一人暮らし高齢者等の居場所づくりや介護予防(フレイル予防)を目的としたサロンを展開しました。

開所日数 220日

利用者数 1,931名

岩泉地区 あづまりっこ

小川地区 まるきや、国見かだつての会、和つこの会

大川地区 ゆきひら

小本地区 中野浜つこの会、大牛内サロン

4 在宅福祉サービスの実施と職員の資質向上

(1) 介護保険事業と介護予防・日常生活支援総合事業



地域で気軽に集まれる交流の場
ゆきひらサロン(大川)

介護理念『やさしさ、あふれる、あったか介護』

① 訪問介護事業所

開所日数 365日

介護保険 延べ利用者 2,913名

総合事業 延べ利用者 1,549名

② 訪問入浴介護事業所

開所日数 144日

介護保険 延べ利用者 384名

③ 岩泉通所介護事業所

開所日数 241日

介護保険 延べ利用者 2,760名

総合事業 延べ利用者 1,436名

④ 小川通所介護事業所

開所日数 243日

介護保険 延べ利用者 1,980名

総合事業 延べ利用者 1,141名

⑤ 大川通所介護事業所

開所日数 193日

介護保険 延べ利用者 1,078名



あったか介護を目指します
(小川デイサービス)

総合事業 延べ利用者 522名

⑥ 居宅介護支援事業所

開所日数 365日

延べ利用者 1,338名

ケアプラン作成件数 1,468件

要介護認定調査 70件

(2) 生活支援サービス事業

在宅の高齢者等が、住みなれた自宅で生きがいをもち、安心して健康に生活できるような本会の介護保険事業と併用しサービスを提供しました。また、介護予防（フレイル予防）事業の実施、推進に努めました。

① 配食サービス

サービス日数 241日

3,944食提供

② 外出支援（福祉有償運送）サービス事業

福祉有償運送事業者として、寝たきりや障がい者等のため、一般の交通機関を利用できない方の通院や公的手続きの送迎を行う外出支援サービスを実施しました。

利用登録者 68名

利用件数 126件

③ 高齢者生活福祉センター（どんぐり苑）

居住部門事業（指定管理事業）

在宅の虚弱高齢者等に対し、冬季間の社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上及び居住機能を総合的に提供しました。

稼働日数 149日 延べ1,175名

(3) 障害者総合支援事業

障がい者支援理念『お互いに思いやり、その人らしさを大切にする支援の輪』

① 生活介護・就労継続支援B型事業所

「町社協いずみの里」 開所日数 239日

生活介護事業所 延べ利用者 452名

就労継続支援B型事業所

延べ利用者 4,791名

② 共同生活援助事業「さくらほうむ」

開所日数 365日

さくらほうむ

延べ利用者 1,602名

めいぷるほうむ

延べ利用者 1,336名

③ 居宅介護事業所 稼働日数 365日

延べ利用者 688名

(4) 放課後児童クラブの運営

① いわいずみ放課後児童クラブ

開所日数 293日

延べ利用者 4,912名

② おもと放課後児童クラブ

開所日数 293日

延べ利用者 1,929名

(5) 職員の資質向上

多様な福祉課題や住民ニーズに対応するため、役職員の資質向上を目的に各種研修会や講習会への参加を進め、資格取得も

推奨し、スキルアップに取り組みました。

5 福祉団体等事務局の運営

各種団体事務局・実行委員会の受託と職員を配置

(1) 岩手県共同募金会岩泉町共同募金委員会

(2) 岩泉町老人クラブ連合会

(3) 岩泉町身体障害者福祉協会

(4) 岩泉町ボランティア連絡協議会

(5) 岩泉町社会福祉協議会岩泉支部

(6) 岩泉町合同金婚式実行委員会

6 会議等の開催と財源の確保

(1) 運営管理

適切な法人運営と効率的な事業経営を行うため、財務人事管理をはじめ、組織全体にかかわる企画・調整等を行いました。

① 正副会長会議の開催 3回

② 理事会の開催 4回

③ 評議員会の開催 2回

④ 監査会の開催 4回

⑤ 各種委員会の開催

(2) 住民会費

各世帯から一般会費の納入協力を得て、福祉活動の財源確保に努めました。

3,269世帯

(3) 本会への寄附の受け入れ、基金造成

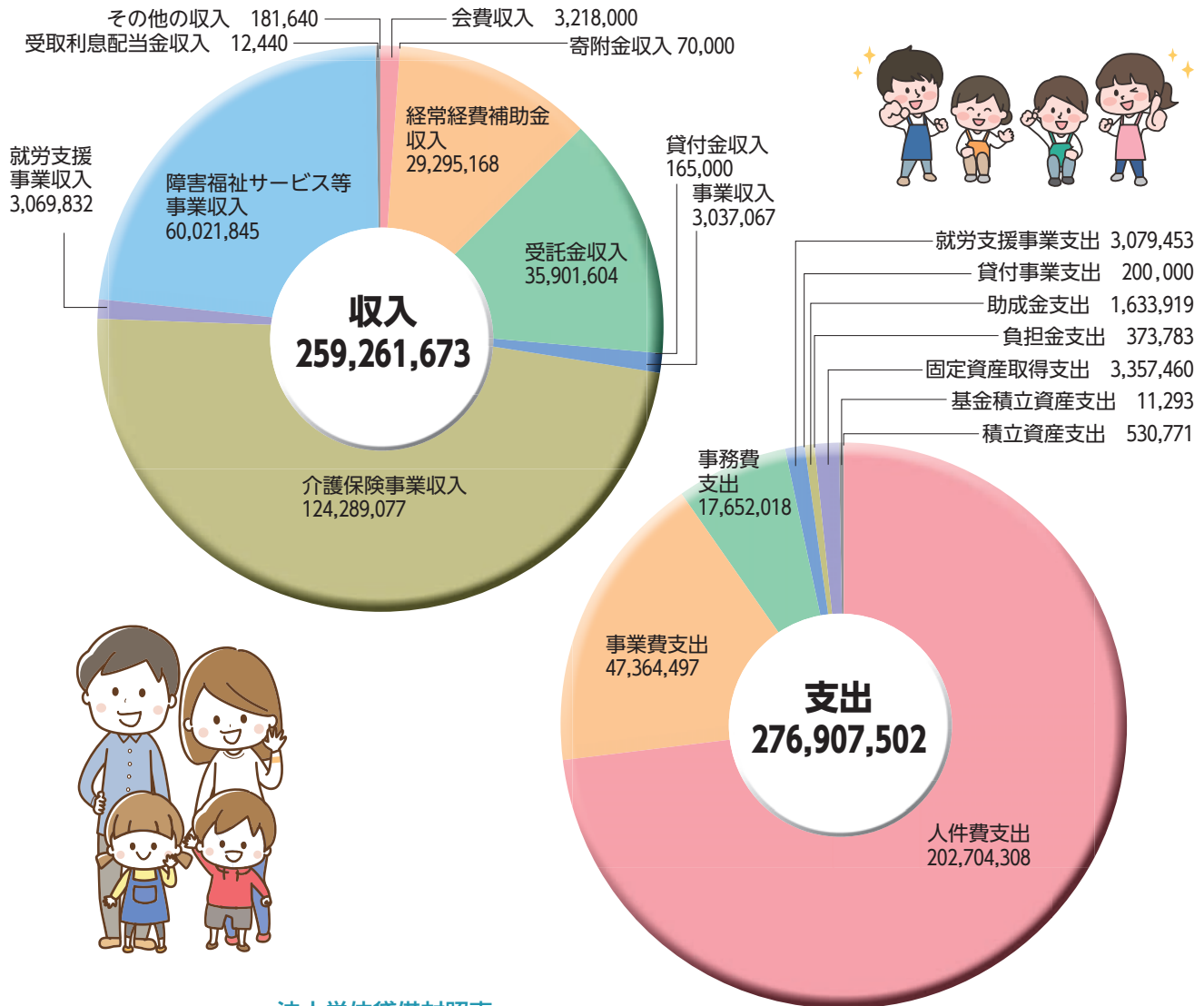
① 福祉基金寄附 1件

② 物品寄附 18件



令和3年度決算報告

法人単位資金収支計算書 (自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日 (単位: 円)



法人単位貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位: 円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	当年度	勘定科目	当年度
流動資産	79,202,600	流動負債	26,272,570
預金	48,405,367	事業未払金	20,492,117
事業未収金	30,212,154	預り金	20,500
未収金	126,231	職員預り金	434,587
商品・製品	336,258	賞与引当金	5,325,366
原材料	122,590		
固定資産	148,196,218	固定負債	12,487,398
(基本財産)	1,000,000	退職給付引当金	12,487,398
定期預金	1,000,000		
(その他の固定資産)	147,196,218	負債の部合計	38,759,968
建物	949,916	純資産の部	
建物付属設備	2	基本金	1,000,000
機械及び装置	2	第一号基本金	1,000,000
車輛運搬具	691,418	基金	91,973,351
器具及び備品	5,427,260	福祉基金	91,973,351
長期貸付金	238,100	国庫補助金等特別積立金	5,526,725
退職給付引当資産	12,487,398	その他の積立金	42,019,441
人件費積立資産	35,219,441	人件費積立金	35,219,441
福祉基金積立資産	91,973,351	たすけあい資金積立金	6,800,000
長期前払費用	209,330	次期繰越活動増減差額	48,119,333
		(うち前期繰越活動増減差額)	66,891,761
		(うち当期活動増減差額)	△ 18,760,431
		純資産の部合計	188,638,850
資産の部合計	227,398,818	負債及び純資産の部合計	227,398,818

脚注 1 減価償却費の累計額 66,210,280 円

町の福祉

赤い羽根共同募金



10 月 1 日から全国一斉に「**赤い羽根共同募金運動**」が行われます。
今年も各家庭の皆さんをはじめ、募金活動などで協力を呼びかけます。
厳しい経済状況のなかですが、町民の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いします。

どうして赤い羽根共同募金運動をするの？

私たちの住む町には、高齢者や障がいのある人、子育て中の人など、暮らしていくのに助けが必要な人たちがいます。皆さんが暮らしやすくなるお手伝いをするために、みんなでちょっとずつたすけあう。それが「**赤い羽根共同募金運動**」です。

たすけが必要な人たちのために様々なボランティア団体が活動しています。活動に必要なお金を 1 人で出すのは大変ですが、みんなでちょっとずつ寄附すれば、より多くのお金が集まり、多くの人が活動に関わることができます。

赤い羽根共同募金はいつから始まった？



昭和 22 年に始まり、76 年の歴史を持ちます。第 2 次世界大戦後の復興を支えるため、「国民助け合い運動」の一環として、「第 1 回共同募金運動」が全国で展開されたのがきっかけです。

当時集まった 6 億円（現在では約 1,200 億円に相当）の寄附金は、被災した福祉施設のために活用されました。

羽根はどうして赤色？

赤い羽根は、勇気と良い行いのシンボルだからです。

アメリカの先住民族は、いろいろな色の羽根かざりを頭などにつけていましたが、羽根には色によって意味がありました。勇気のある行いや、良いことをした人が、「赤い羽根」をつけていたと言われています。



募金はどのように使われる？

「**赤い羽根共同募金運動**」で集まった募金の約 7 割は、募金をいただいた地域で使われます。残りの約 3 割は、皆さんの住んでいる市区町村を越えた広域的な課題を解決するための活動に、都道府県の範囲で使われています。



いろいろな募金の豆知識

「**赤い羽根共同募金運動**」以外の主な募金を紹介します。

- | | |
|----------|------------------|
| ○緑の募金 | 森林づくりの活動のため |
| ○青い羽根募金 | 海で事故にあった人をたすけるため |
| ○黄色い羽根募金 | 移植医療の普及と推進のため |
| ○白い羽根募金 | 青少年赤十字の活動のため |

町の福祉

いわいずみ社協からのお知らせ information

マークの見方

-  情報
-  助成・支援
-  イベント
-  福祉
-  ボランティア
-  その他

第33回岩泉町社会福祉大会 第42回岩泉町老人クラブ大会を開催します

- 日時 11月11日（金）
場所 岩泉町民会館
式典 両大会長表彰
講演 『気仙ボケー座』による演劇
参加費 無料
その他 今後の感染症の拡大状況によっては
内容を変更する場合があります。



認知症への理解を愉快的な寸劇で紹介

町社協いずみの里『里っこまつり』を合同開催予定

【問合せ先】 町社会福祉協議会 地域福祉課 TEL 22-3400



日常生活自立支援事業（あんしんねっと）について

日常生活自立支援事業とは、高齢の方や障がいを持った方が地域で安心して生活が送れるよう福祉サービスの利用手続きの援助や代行、それにともなう日常的な金銭管理などを行う、社会福祉協議会の事業です。

○福祉サービスの利用援助

福祉サービスを安心して利用できるようお手伝いします。

○日常的な金銭管理サービス

公共料金や税金などの支払い手続きや預貯金の出し入れなどをお手伝いします。

○書類等の預かりサービス

預貯金通帳、年金証書、重要書類や印鑑などを安全な場所でお預かりします。

相談は無料、サービスは有料です。まずはお気軽にご相談ください。

【問合せ先】 町社会福祉協議会 地域福祉課 TEL 22-3400



生活困窮者自立支援事業について（宮古圏域くらしサポートセンター）

宮古圏域くらしサポートセンターは、「くらし」、「仕事」、「お金」などの困りごとを抱えている方の相談窓口です。相談無料、秘密厳守、個人情報守られます。

こんなことでお困りではありませんか？

- 失業して家賃が払えない
- 収入が減って公共料金に滞納がある

支援の流れ

- あなたの生活での悩みごとをお話してください。
- 困りごとの解決のための具体的な目標を一緒に考えていきます。
- 他の専門機関と一緒に解決へ向けて取り組みを継続的にサポートします。

【問合せ先】 宮古圏域くらしサポートセンター TEL 0193-65-8815

（月曜日から金曜日）8：30 から 17：00 まで



ご寄附ありがとうございました

寄附金 町の福祉のために活用させていただきます

匿名(小本) 3,000円

デイサービスセンターやすらぎ 様(岩泉) 2,000円

寄附物品 町の福祉に活用させていただきます

株式会社 JEC プリンス 21 様(岩泉) お菓子(放課後児童クラブへ)

匿名(小川) シーツ、毛布、タオルケット等(通所介護事業所へ)

中島 智幸 様(北上市) 消毒液 90本(福祉サービスへ)

岩泉町民 様 第2回町民福祉まつりで頂いた食料品(フードバンク)

ボランティア活動

岩泉中学校、小川中学校、岩泉高等学校

生徒 25 名 様 町民福祉まつり運営スタッフ



町民の皆さんへありがとうを伝えたい～岩泉町スポーツ少年団等活動応援助成～



仲間と一緒に日々の練習に励んでいます

龍泉洞 J・スターズでは、赤い羽根共同募金助成事業を活用し、熱中症対策用品としてアイスバックを購入しました。7月に釜石市で開催された「三陸沿岸学童軟式野球大会」に出場した際にも選手の一人ひとりが使用することができ、熱中症対策、さらに感染症対策にも役立ちました。町民の皆さんから寄せられた募金に大変感謝しています。これからもスポーツ少年団の活動を頑張っていきます。皆さんの応援よろしくお願いします。(監督 佐々木 拓海)

編集・発行

社会福祉法人 岩泉町社会福祉協議会

〒027-0501 岩泉町岩泉字森の越4番地14(ふれあい交流福祉館内)

TEL 0194-22-3400 FAX 0194-31-1033

居宅介護支援(ケアマネジャー)	TEL 22-2431
訪問介護(ヘルパー)、訪問入浴	TEL 22-3318
岩泉通所(どんぐり苑)	TEL 22-5632
小川通所(いきいきホームこがわ)	TEL 39-1015
大川通所(サンパワーおおかわ)	TEL 26-2007
いずみの里	TEL 31-1234
さくらほうむ	TEL 22-2221
いわいずみ放課後児童クラブ	TEL 22-2860
おもと放課後児童クラブ	TEL 28-2777
心配ごと相談所	TEL 31-1065

URL <http://iwaizumi-shakyo.or.jp>

E-mail info@iwaizumi-shakyo.or.jp

お知らせ

町社協の事業について、随時ホームページで更新しています。ご確認ください。

岩泉町社協

検索

お気軽にアクセスをお願いします



いわいずみ福祉カレンダー

月 日	行事名
9月16日(金)	第2回町社協正副会長会議
9月29日(木)	第2回町社協理事会
10月1日(土)	赤い羽根共同募金運動開始
10月1日(土)	第2回総合相談会
11月17日(木)	第3回町社協監事会

※日程が変更になる場合があります